

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Harmony & Theory I		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則別表上表記	Harmony & Theory I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経歴: 20年。MI Hollywood卒業後、同校で教鞭を執る傍ら、西海岸エリアを中心にスタジオミュージシャンとしてのキャリアをスタート。現在は東京を拠点にアーティストへの楽曲提供、ライブやレコーディング、教則本の執筆をこなしている。前記経験を活かし、コンテンポラリーミュージックで必要とされる音楽理論を教える。				

授業概要

音楽の構造や楽典分析の仕方などを、理論立てて学ぶ。

到達目標

音楽を理論的側面から捉え、演奏や作編曲等に活用する。

授業計画・内容

【前期】 1～6回目	Notation Basics Major Scales
【前期】 7～10回目	Intervals Intervals Within and Beyond The Major Scale
【前期】 11～14回目	Further Study Of The Triad Chords And Major Triads
【前期】 15～18回目	Major Scale Harmony Chord Progressions Harmony & Theory 1 Review
【後期】 1～4回目	Notation Basics Time Signatures
【後期】 5～8回目	Major Key Triads Natural Minor Scales
【後期】 9～12回目	Minor Scale Triad Harmony Harmony & Theory 2 Midterm Review
【後期】 13～17回目	Minor Scale Harmony Diatonic Seventh Chords
【後期】 18回目	Harmony & Theory 2 Review
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
使用教科書	MI Bookstore Harmony & Theory 1, 2

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Ear Training I		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則別表上表記	Ear Training I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経歴: 20年。MI Hollywood卒業後、同校で教鞭を執る傍ら、西海岸エリアを中心にスタジオミュージシャンとしてのキャリアをスタート。現在は東京を拠点にアーティストへの楽曲提供、ライブやレコーディング、教則本の執筆をこなしている。前記経験を活かし、ミュージシャンとして必要とされる聴音能力を高め相対音感を身につける授業を行う。				
授業概要					
聴こえてくるメロディーやリズム、ハーモニーなどを声に出し、聴音力を鍛える。					
到達目標					
楽曲を聴き、五線譜への採譜する能力の修得。 複雑なメロディーやリズム、ハーモニー等の聴音力の向上。					

授業計画・内容	
【前期】 1～6回目	Pitch Major Scales/Sharp Keys Major Scales/Flat Keys
【前期】 7～10回目	Intervals Melodies Melodic and Harmonic Intervals
【前期】 11～14回目	Chromaticism Harmony
【前期】 15～18回目	Diatonic Harmony Try It All Together
【後期】 1～4回目	Meter And Rhythm Rhythmic Notation
【後期】 5～8回目	Sight Singing Transcribing Melody and Rhythm
【後期】 9～12回目	Midterm Review Melodic and Harmonic Intervals
【後期】 13～17回目	Triad Qualities Diatonic Chord Progressions
【後期】 18回目	Ear Training I Review
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
使用教科書	MI Bookstore Ear Training 1, 2

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Song Analysis/Song Writing		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則別表上表記	Song Analysis/Song Writing	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	サウンドクリエイターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float:right">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	実務経歴:20年 パークリー音楽大学で作編曲を学び、優秀賞を受けた後帰国。全国でミュージカルなど舞台音楽、また愛・地球博、高校総体総合開会式などのイベントやCM音楽も手掛ける。前記の経験を活かし楽曲の分析、解析を行い、曲作りのノウハウを教える。				
<b>授業概要</b>					
メロディー・ハーモニー・リズム・歌詞・構成・アレンジ・演奏・エンジニアリング、またはそれらの組み合わせから楽曲を捉えることによりミュージシャンとしての楽曲の聴き方を学び、その後は作曲実践しながらメロディーやハーモニーを学んでいく。					
<b>到達目標</b>					
音楽において自分の興味がどこにあるかを発見し、今後の学習目標を立てる。 作曲することを通じて、音楽を行う上で必要な感性・知識を身につけていく。					

授業計画・内容	
【前期】1～5回目 Song Analysis	「なぜその曲は良い曲なのか？」 Elementsの整理(イメージ～作詞作曲・アレンジ・ミックス・FXなど)
【前期】6～9回目 Song Analysis	実践
【前期】10～14回目 Melody Analysis	メロディー分析 Motif, Approach Tech, Leap
【前期】15～18回目 Melody Analysis	メロディー創り Motivic Development, Tonic Scale, Chord Scale:Project提出
【後期】1～5回目 Harmony1	「作曲を始めよう」 Chords on Diatonic Scale (Major, Minor) Harmonic Analysis, Functional Analysis
【後期】6～9回目 Harmony1	実践 Harmonic Minor, Melodic Minor, Non-Diatonic Chords Secondary Dominant, Related II m, Guide tone line:Project提出
【後期】10～14回目 Harmony2	「Jazzyな作曲」 Tension, Modal Interchange, Inversion
【後期】15～18回目 Harmony2	実践 Sub V, Extended Dominant:Project提出
評価方法	4半期ごとのプロジェクト提出(作曲)、出席率、宿題提出を総合的に評価
使用教科書	

授業科目名	Communication in Japanese		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則別表上表記	Communication in Japanese	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	1991年AIONでメジャーデビュー。その後VOLCANOに参加し海外デビュー。また地獄カルテットでも活動している。教則本「地獄のメカトレ・シリーズ」のヴォーカル版「地獄のボーカルトレーニングフレーズ」を執筆。前記記載の海外での実績と経験を生かし、音楽業界でよく使われる日本語の授業を行う。また、会話でのコミュニケーションも行う。				
授業概要					
音楽活動で使われる日本語、日本人と日本語でよく使われる言葉を覚える。					
到達目標					
会話力を身につけ、様々な練習を通して音楽の現場でコミュニケーションやディスカッションができる事を目指す。					
授業計画・内容					
1回目	音楽活動で使われる日本語、機材などの名称、練習。				
2回目	日本語あいうえお～わをんの発音				
3回目	会話でよく使われる言葉を話す。				
4回目	全体の発音を音程で捉える				
5～9回目	日本語、会話からの応え方練習①～⑤				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書					

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Communication in English		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則別表上表記	Communication in English	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経歴: 20年バークリー音楽大学出身。BABY FACE、USHERの来日時にドラムを務め、安室奈美恵のバックコーラスとして、NHK紅白歌合戦にも出演。スティービー・ワンダーとセッションするなど、その活動は幅広い。前記、ミュージシャンとしてもキャリアがあり、ネイティブな講師が音楽をキーワードに英会話を行う。				
授業概要					
いままで学んできた英語を活用し、音楽現場でのコミュニケーションに使えるようになろう。語彙や文法などを一度抜きにして、とにかく英語を使ってコミュニケーションしてみる。					
到達目標					
会話力をつけ、様々な練習を通して音楽現場でコミュニケーション・ディスカッションができることを目指す。					
授業計画・内容					
1回目	授業説明。英語に慣れる。挨拶と自己紹介をしてみよう。				
2回目	身の回りの物について話してみよう。				
3～4回目	音楽について話してみよう。好きなアーティストや楽曲を紹介してみよう				
5回目	音楽用語について。音楽現場での会話について				
6回目	様々なコミュニケーションについて				
7回目	プレゼンテーションについて				
8回目	プレゼンテーション				
9回目	復習と総括				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	講師が別途指示。主に講師作成のプリントを使用。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	MusicBusiness		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則別表上表記	MusicBusiness	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	サウンドクリエイター コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	MI TOKYO卒業後、音楽制作会社を起業し代表を務める。レコーディング・PAエンジニア、ポストプロダクションの実務経験は20年以上の経験を持ち。音楽のビジネスとは何か？を自身の起業の経験と業界で得た経験を活かし、音楽業界でのキャリアプランを形成する為の授業を行う。				

授業概要

音楽を通じビジネスを学びます。現代の音楽業界の多様化や変化を学習しながら、自分のキャリアを形成します。業界の仕組みや著作権、またWEBやSNSを活用したプロモーションなど多角的にアーティストの活動を理解していきます。

到達目標

音楽をインターフェースにビジネスを知る。個人事業主とは何かを知る。

授業計画・内容

【前期】 1～5回目	プロフィール作成・活動計画・音楽産業について
【前期】 6～10回目	デジタルツール・音楽配信・自分の価値・予算・著作権について
【前期】 11～15回目	デザインの知識・グラフィックツールに関して
【前期】 16～18回目	ネットコンテンツに関して
【後期】 1～5回目	ラジオ番組制作 企画(台本・キューシート など)
【後期】 6～10回目	ラジオ番組制作 音声制作(BGM・ジングル・SE など)
【後期】 11～15回目	ラジオ番組制作 グラフィック制作(タイトルロゴ・アイコン など)
【後期】 16～18回目	プロモーション資料 まとめ(プロフ・デモ音源・SNS など)
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
使用教科書	

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	PROTOOLS I (Avid認定ProTools#101, #110)		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則別表上表記	Pro Tools101&110	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	サウンドクリエイターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経歴: 20年 MI TOKYO卒業後、音楽制作会社を起業し代表を務める。レコーディング・PAエンジニア、ポストプロダクションの実務経歴は20年以上。前記の経験を活かし、世界基準といわれるDAWソフトProToolsの使い方を教える。Avid 公認インストラクター。				
授業概要					
世界中の音楽スタジオや楽曲作成には欠かせない音楽ソフトウェアのProToolsの基本的な操作方法と技術を学ぶと同時にAvid社公認ProToolsオペレーター#101, #110の取得を目指す。					
到達目標					
Avid社公認ProToolsオペレーター#101及び#110の取得。ProToolsを通じてサウンドエンジニアとしてあらゆる場面で活躍できる人材になることを目的とする。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	ProToolsについて、セッション及びプロジェクトの作成、オペレーティングの基本操作について、ウィンドウの役割について、録音とファイル形式について、オーディオの録音・選択・再生				
【前期】 6～9回目	メディアのインポート、MIDI、バーチャルインストゥルメントについてリージョンの作成とメモリーロケーション機能について、Review				
【前期】 10～14回目	これまでの復習、編集モードと編集ツールの使い方についてパンチレコーディングとループレコーディングの違いについて、セッションファイルとオーディオフィールの管理について				
【前期】 15～18回目	リージョンの作成とメモリーロケーション機能について、Review				
【後期】 1～5回目	MIDIについて、バーチャル・インストゥルメント、X-Pand2、MIDIのレコーディングについて、リアルタイムプロパティ、クリップグループとクリップループ、エラスティックオーディオ機能の紹介				
【後期】 6～9回目	エラスティックオーディオ機能を使い、タイムコンプレッション/エクспанション処理とピッチシフト処理をリアルタイムで行う。フェードの適用。フェードイン、フェードアウト、クロスフェード、バッチフェードを使いこなす。				
【後期】 10～14回目	オートメーションの書き込みと適用、エフェクターによる色々な処理の方法についてバスを使った処理、ディスクにバウンス機能やトラックにバウンス				
【後期】 15～18回目	I/O設定、プレイバックエンジン等、Protoolsの様々な設定ProTools#110試験の概要、対策				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	Avid社オフィシャル-eBOOKテキスト[ProTools#101, #110]				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Live Sound Production		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則別表上表記	Live Sound Production	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	サウンドクリエイターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経歴: 20年 キーボードプレイヤー。レコーディングエンジニアやLIVEのPAエンジニアも行う。CMやドラマの音源制作で活動中。前記経験を活かし、実際のホールを使用し、PAエンジニアとしてライブサウンドを構築する知識や技術を教える。				
授業概要					
サウンドシステムの組み立て、ステージやモニターのセットアップ、サウンドチェックやコンソールの操作、エフェクト操作、ミキシング技術、トラブルシューティングなどライブサウンドを構築する基礎知識を学びます。					
到達目標					
小規模ホールでのライブPA をオペレートできるようにする					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	PAシステムについて、スピーカーのチューニングについて、リファレンス音源について フロアモニターについて、回線について、マイクの種類について、用途に応じたマイク選びとセッティングについて				
【前期】 6～10回目	EQとインサートエフェクトについて、必要とされる音以外の処理について ドラムの音作りについて、不必要な音の処理について、ここまでの復習				
【前期】 11～15回目	ステージ上でドラムにもう一つ楽器を追加した際のレベルとバランスとその処理について				
【前期】 16～18回目	Sendについて、AUX回線について、プリフェーダー・ポストフェーダーについて Delayについて、Reverbについて、Send & Return回線の使い方について				
【後期】 1～5回目	前期の復習、3つ以上の楽器で演奏した際のフロアモニターの音とEQでのチューニングについて				
【後期】 6～10回目	フェーダーグループ/VCA/ミュートグループについて、パッチの組み方、特殊なインサートエフェクトについて				
【後期】 11～15回目	バンドアンサンブルにおけるVOCALの処理とモニターについて				
【後期】 16～18回目	総復習、実践中に出てきたトラブルシューティング				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書					



専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Computer Recording I		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則別表上表記	Computer Recording I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	サウンドクリエイターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:10年 MI TOKYO卒業後、様々なアーティストのサポートや音楽プロデューサー「CULTONES」としてアイドル、YouTuber、ダンスグループやヒップホップなどを手掛け、ゲーム、映画など音楽シーン以外の分野でも楽曲提供を行っている。前記経験の中で培ってきた音楽制作の手法やアプローチの方法を授業の中で行う。				
授業概要					
パソコンを使用した音楽制作に必要な技術や操作を学びます。					
到達目標					
音楽ソフト「Logic Pro X」の基本操作、ミキシングやマスタリング、シーケンス、サンプリング、レコーディング等を習得する					
授業計画・内容					
【前期】 1～4回目	授業内容説明/デモ演習 MIDIプログラミング Apple loops/Drummer				
【前期】 5～11回目	Audio Recording/Edit Equrizer Dynamic Plug in				
【前期】 12～15回目	Reverb/Delay 実技トレーニング Review1、Audio Edit				
【前期】 16～18回目	ソフトウェア音源、オートメーション Vocal Mix(Dyn/EQ/Rev/Delayアドバンス) Review2				
【後期】 1～5回目	ミキシング/マスタリング:マルチデータのコンプレッション、サチュレーション、空間処理など各エディットの応用。VUメーター、RMS、ラウドネスメーターの説明。 実習1:MIDIプログラミング、オーディオ録音、ミックスマスタリング。				
【後期】 6～7回目	実習1のプレゼンテーション。セッションデータの提出。 譜面:Logicで譜面作成。作曲/編曲の違いについて。実習2・3の説明。				
【後期】 8～13回目	実習2(作曲/編曲):ペアを組みフルコーラス1曲を共作。実習2のプレゼン。 バウンス/リリース:バウンスのビットレート、サンプルレート、圧縮形式の違いCD/配信/映像音楽など用途の違いについて。有料配信の仕組みについて。				
【後期】 14～18回目	実習3(編曲/アレンジ/リミックス):個別実習。講師が用意するステムデータをアレンジ。ステムデータについて、アレンジとリミックスの違いについて。 実習3のプレゼン。1年間の復習。				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書					

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Studio Recording		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則別表上表記	Studio Recording	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	サウンドクリエイターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	MI Tokyo(旧 MI Japan Tokyo) 卒。音楽制作会社を起業し代表に就任。 現在、多岐にわたるジャンルのアーティストのレコーディングやライブPA、ポストプロダクションに関わり、その手腕を発揮している。前記経験を活かし、レコーディングスタジオの使い方の基礎から実践までを教える。				
授業概要					
レコーディングスタジオ設備の運用方法や録音法、DAWのオペレーションの座学と実習。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>レコーディングスタジオのシステムを理解する。</li> <li>レコーディング作業フローを習得する。</li> </ul>					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	レコーディングについての基礎音響知識				
【前期】 6～10回目	レコーディングスタジオ設備の知識				
【前期】 11～16回目	レコーディング手法・実習(ナレーター)				
【前期】 17～18回目	レコーディング手法・実習(ヴォーカル)				
【後期】 1～5回目	レコーディング手法・実習(ドラム)				
【後期】 6～10回目	レコーディング手法・実習(ギター/ベース)				
【後期】 11～16回目	編集・ミックスダウン(音楽制作)				
【後期】 17～18回目	編集・ミックスダウン(ラジオ、CM、ポストプロダクションetc)				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書					

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Keyboard proficiency I		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則別表上表記	Keyboard proficiency I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経歴10年 MI Hollywood卒業。帰国後バックミュージシャン・講師として活動中。 お台場合衆国「ONE PIECE MEMORIAL LIVE 2010」The Rootless、アカラ10周年記念コンサートなどで演奏。前記経験とMI Hollywoodの教科書を熟知した講師がミュージシャンにとって必要な鍵盤のアプローチを授業にて行う。				
授業概要					
鍵盤を利用し、音楽理論のベースを構築しつつ、伴奏楽器の一つとして使えるようにする					
到達目標					
DTM使用の際の基礎的な鍵盤入力方法の習得。 キーボーディストの使うヴォイスイングやバックキングパターンの理解。 DTM使用の際、キーボードを使用したバックキング入力スキルの習得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	スケール練習1～5				
【前期】 6～10回目	スケール練習6～10				
【前期】 11～15回目	コードの転回型1～5				
【前期】 16～18回目	コードの転回型6～9				
【後期】 1～2回目	4分打ちのバックキング練習 サスティンペダルを使用してのバックキング練習				
【後期】 3～8回目	バックキング練習1～6				
【後期】 9～11回目	バックキング練習1～6の復習 シンセの音色を知る				
【後期】 12～16回目	バックキング練習7～12				
【後期】 17～18回目	バックキング練習7～12の復習 今までのバックキング総復習				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	MI Bookstore Keyboard performance 1				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Project Advising I		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則別表上表記	Project Advising I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	サウンドクリエイターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	作曲／編曲／ピアニスト／音楽プロデューサー。慶應義塾大学在籍中よりスタジオミュージシャンを始めて、多数のアーティストのサポート、TV、アニメ、劇伴音楽など手掛ける。前記経験を活かし、生徒一人一人のプロジェクトの構築や今後の取り組み方法などを授業で行う。				
授業概要					
さまざまな授業で学んできたことを確認・復習しながら、講師と共に自身のプロジェクトを形成する。					
到達目標					
自身のプロジェクトの形成とプレゼンテーション					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	各授業の復習とフォローアップ、個々のプロジェクトに対するアドバイス				
【前期】 6～10回目	各授業の復習とフォローアップ、個々のプロジェクトに対するアドバイス、中間発表				
【前期】 11～15回目	各授業の復習とフォローアップ、個々のプロジェクトに対するアドバイス、中間提出				
【前期】 16～18回目	各授業の復習とフォローアップ、個々のプロジェクトに対するアドバイス、 期末発表:プレゼンテーション				
【後期】 1～5回目	各授業の復習とフォローアップ、個々のプロジェクトに対するアドバイス、プロフィール作成				
【後期】 6～10回目	各授業の復習とフォローアップ、個々のプロジェクトに対するアドバイス、中間発表				
【後期】 11～15回目	各授業の復習とフォローアップ、個々のプロジェクトに対するアドバイス、中間提出				
【後期】 16～18回目	各授業の復習とフォローアップ、個々のプロジェクトに対するアドバイス、 期末発表:プレゼンテーション				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書					

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Live Playing Workshop I		授業形態 / 必・選	演習	必修
	学則別表上表記	Live Playing Workshop I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目			該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	実務経歴: 15年～20年。各曜日ごと各ジャンルごとのアンサンブル授業に当校の音楽ジャンルや音楽スタイルに精通したキャリアを持つ講師を授業ごとに5～6名を配置し授業を行う。				
<b>授業概要</b>					
課題曲を用いて本番を想定した、ステージ上で行われるバンドアンサンブルの授業。音楽のスタイルやジャンル別に、毎日行われている。各パートの講師がアンサンブルや演奏に関してのレクチャーを行う。					
<b>到達目標</b>					
バンドアンサンブルの技術やステージでの経験値を上げる。様々なジャンルやスタイルの音楽を身につける。					
<b>授業計画・内容</b>					
【前期】 1～5回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど。毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週1回選んで出席する。				
【前期】 6～10回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど。毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週1回選んで出席する。				
【前期】 11～15回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど。毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週1回選んで出席する。				
【前期】 16～18回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど。毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週1回選んで出席する。				
【後期】 1～5回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど。毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週1回選んで出席する。				
【後期】 6～10回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど。毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週1回選んで出席する。				
【後期】 11～15回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど。毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週1回選んで出席する。				
【後期】 16～18回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど。毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週1回選んで出席する。				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	講師が用意する譜面				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	SoundCreator Style Selection I		授業形態 / 必・選	実技	必修
	学則別表上表記	SoundCreator Style Selection I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	63回(126単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	サウンドクリエイターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目			該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	実務経歴:15年～20年 授業の内容に応じた現役プロの講師				
授業概要					
自身の望むスタイルに必要な授業を選択し、受講する。					
到達目標					
自身のスタイルの確立。 確立したスタイルに対するスキルの習得、向上。					

授業計画・内容	
【前期】 1～27回目	選択授業① 別途提示される授業の中から必要な授業を選んで受講する。
【後期】 1～36回目	選択授業② 別途提示される授業の中から必要な授業を選んで受講する。
	選択授業③ 別途提示される授業の中から必要な授業を選んで受講する。
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
使用教科書	選択した授業ごとに資料を配布。